

交野市立小学校5、6年生、交野市立中学校1年生の皆さんへ



交野市の教育委員会で教育長という仕事をしている北田千秋といいます。今までの長い休み、そしてこれからについて、書いていますので、読んでください。

2月末まで、皆さんは、新しい学年や中学校への希望や期待がいっぱいだったでしょう。勉強が^{いっそう}一層難しくなるかもしれないけどがんばろう、宿泊行事楽しみだ、など4年生とはちがったいろいろな思いを持てるのが5年生です。修学旅行で何委員になろうか、楽しみだ、運動会では応援団になろうか、など6年生は最上級生としての責任もあるけど、楽しみでいっぱい^{えいさきょう}の学年です。でも、新型コロナウイルスの影響で、行事や勉強がいつもの年のようにできるか、不安がいっぱいだと思います。

中学校1年生は、この長い休みで、卒業式、入学式がいつもの年のようにはできませんでしたが、一生に一度の行事を縮小して行うことになりました。縮小した卒業式、入学式でしたが、^{あたた}暖か^すで素晴らしい式でした。練習がほとんどできない中でも、皆さん堂々として立派な式でした。ただ、せっかくの中学校生活のスタートがいつもの年と違ったものになりました。学習面、生活面ともに不安が大きいと思います。

皆さんに、不安^{もう}を与えて^{わけ}本当に申し訳ありません。



学校が再開されます。不安はあるでしょうが、皆さんにお願いがあります。

交野市には、14の小・中学校があります。百何十年も前お寺の中からはじまった学校もあります。池を埋めてできた学校もあります。千年以上前の政府の役人が勉強していた場所につくられた学校もあります。「東洋一の学校」とよばれた学校もあります。どの学校も、それぞれ特徴^{とくちよう}がありますが、共通しているのは、地域の方に学校を^{ささ}支えて^さいただいたということです。ある中学校では、学校ができたばかりの頃、「みどり」が少ないので地域の方がサンゴ樹^{じゆ}を20cmほどの挿し木から育てて^さてくださいました。今は、立派にしげっています。

そんな、それぞれ伝統や愛情^{ほこ}、誇りがつまった小学校と中学校をつなぐのが、小学校5年生から中学校1年生までの皆さんです。

小学生にとって一番身近な中学生は1年生です。去年まで登校班で一緒だった皆さんです。だから、今、小学生が「^{あこが}憧れる中学生」は1年生です。中学校では1年生が一番年下なので遠慮^{えんりよ}しているかもしれませんが、皆さんこそが、小学校と中学校を結ぶ大事な存在です。

5,6年生は、心も体も昔の中学生と同じぐらい成長しています。だから、小学校では行事に委員会に学習に活躍できています。小学校1年生から4年生にとって「^{あこが}憧れる先輩」は、5,6年生です。

新型コロナに負けず、元気のある交野の学校になるためには、皆さんの力が^{たくわ}必要です。いよいよこれからです。皆さんが蓄えてきたエネルギーで、素晴らしい学校になるために活躍をお願いします。



令和2年5月25日

交野市教育委員会教育長 北田千秋